

箕輪町第5次振興計画

区の将来像 実績シート

令和5年度

区名: 沢

キャッチフレーズ: 歴史と伝統を受け継ぎ 次世代の若者が育つ 沢

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
自然に対話が生まれ、次世代が育つ機会をつくるため、これまでも常会等で続けてきた話し合いの場を大切にします	○「広報さわ」を4月と12月に発行。また区の行事の実施状況を収めた写真の一覧を前期と後期の2回発行し、区民との繋がりを強める広報活動を行う。 ○各サロン、サークルへ区から補助金を継続し交流の場、生きがいづくりを広める。 ○常会などで開催する会合や行事等話し合いの場を大切にし絆を深める。	・「広報さわ」は、例年とおり2回発行。印刷費の削減を図る為、校正まで役員で行う。内容も事業行事の写真を充実させ掲載する。 ・新たなサークル活動を活発にし、区民の交流の場を設け、活動の機会を充実した。 ・常会・組単位の事業(消火栓訓練など)で近所の交流の機会を設け、絆づくりを啓発した。	・「広報さわ」発行は、情報共有の観点から継続したい。 ・各サロン・サークル活動は、交流の場を広げる取組を充実させるために啓発・支援をお願いしたい。 ・コロナ禍で顔なじみの交流が希薄化している中、懇親会等で交流の場を積極的に推進し、災害時の絆づくりに活かす。
年齢や性別にかかわらず、活動には区民全員が参加できるよう工夫します	○区民大運動会、区民文化祭、納涼祭、区民ハイキング等を実施し、子供からお年寄りまで、周りに声を掛け合い気楽に参加し楽しめる企画と環境づくりを進める。 ○高齢者を尊び長寿を祝い、慰労と交流の場として「尚歯会」を復活する。 ○ながた自然公園内に「音楽堂」を設置し、区民が自然公園の森林浴を味わい生命の気を取り込めるイベント会場の整備をしたい。	・コロナ5類移行に伴い公民館行事を再開した。区祭りに小学生の鼓笛隊バレート再開。行事として、子ども広場・区民ハイキング・納涼祭花火大会・駅伝大会・ハロウィン収穫祭等を充実開催。 ・区民大運動会は「区民スポーツ祭」と名を改め、ニュースポーツを展開。各常会の絆づくりの懇親会は中止した。 ・敬老会「尚歯会」は、シニアの皆さんを招き、娯楽会では、一時の笑顔を頂き、楽しい交流の場を提供できた。 ・ながた自然公園「音楽堂」の設置は、維持管理に課題の余地があり時期尚早とした。	・コロナ禍で近所付き合いなど生活環境の変化と少子高齢化により、交流の場が減少している状況の打開策を各行事で工夫をする。 ・運動会は、組毎の年齢バランスに配慮し統合等を行う。今までの種目を工夫し、シニア層が組単位で参加し易くする。 ・行事等は懇親会在りきで展開し、組単位でも活発化する。
高齢化や核家族化が進んでも区や常会との関わりを保つため、役員業務や共同作業等の負担軽減など、新たな仕組みを検討します	○自主防災組織を充実し、安否カードにより災害時の安否確認や要支援者の避難支援体制等を確立する。また年間を通して防災に対する意識の高揚を図る。 ○全戸対象で「支え合い調査票」を実施しマッチングを図り、要支援者の支援(ゴミ出し、雪かき、草取り等)を行う。 ○自衛消防のために、消火栓・ホース筒先の取り扱いの訓練を組・常会毎に実施する。 ○常会の規模等の見直しを進め、役員の負担軽減を図る。	・自主防災組織の機能充実を図るべく、要支援者宅を連絡員が訪問し安否確認を実施。 ・町防災訓練と連携し自主防災訓練を実施した。シェイクアウト訓練・避難所開設テント組立・簡易担架づくり・AED操作・三角巾・消火栓操作訓練を行い実践的活動に寄与できた。 ・自衛消火活動の必要性を理解し実践体験として消火栓の切り方・ホース筒先の持ち方を、消防団員の指示で各区毎実施した。特に女性の方々に体験頂く取組を充実させた。 ・全戸で支え合いの調査票を提出され、要支援者への支援活動の充実に寄与できた。 ・常会毎の区民規模を考慮した区組織を図れた。	・要支援者の安否確認は、連絡員が定期的に確認し、災害時の支援体制を構築する。 ・自衛消防の訓練を区民に啓発し、女性にも消火栓訓練等の実践・実習を充実する。 ・支え合い活動のマッチングから小グループの組織化を行い支え方法を検討したい。 ・常会の役員職務軽減をするため、日赤奉仕団の縮小を始め、各団体のあり方を検討事項とする。

区名:大出

キャッチフレーズ: 未来を見据えてみんなで知恵を出し未来を創造する 大出

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
コロナと共存した区の活動や対応を考えます。区としてやらなくてはならないことを精査して、高齢化が進む中、区役員の負担軽減を含め思い切った、コミュニティーのあり方を検討していきます。	・コロナ禍でできなかった活動を元に戻すのではない分館活動を進める ・区民の交流の場である納涼祭はコロナの状況を踏まえながら実施する ・役員の負担軽減のための現状調査をする ・区費のあり方とコミュニティーのあり方について合同会で検討を進める	・今年度の分館活動 区民球技大会、寺子屋実施 ・納涼祭は計画まではしたが直前の台風直撃情報により中止せざるを得なかった。 ・町内一周駅伝参加(4位、3位)と健闘した。 ・どんど焼きも約70名の参加で実施できた。	・分館行事は今年度の反省を含め予算も考慮した事業警戒を立てる。
大出区の歴史を支えて頂いた高齢者の皆さんが豊かな老後を送れ満足感が持てる環境を考えます。区民が安全安心に生活できるよう区政の中で引き続き検討していきます。世代を超えた交流も必要と考えます。	・3年間実施されなかった敬老会実施に向けた検討 ・ふれあいサロンの実施 ・支えあい(草刈り・ゴミ出し・雪かき)の見直しをしてマッチングを図る ・小集団ふれあいサークル、長寿会などの支援 ・マレットゴルフ、そばまつりなどコミュニケーションの支援 ・昨年実施した高齢者の一人世帯への花の贈呈をする	・敬老会は実施に進めたが、コロナ感染のリスクは払拭できなかった。 ・ふれあいサロンは3回実施できた。 ・支えあい(草刈り、ゴミ出し、雪かき)のマッチングをして実施中 ・小集団(長寿会、元気会、おいでよ大出)などの小集団活動の支援は出来た。 ・そば祭りは山口地区、大出地区で盛大に実施できた。 ・高齢者の一人世帯への花の贈呈は未実施。	・敬老会の実施に向け進め方など課題があるので検討する。 ・ふれあいサロンの開催と今年度の反省から反省点を考慮し検討していく。 ・地域の支えあい活動の継続そば祭りを大出の交流の場へ更なる検討していく。
公園、グラウンドがない大出区ですが、子育て世代が楽しめる環境整備を進めます。町と協力して高橋神社境内の整備を行っていきます。自然豊かな環境保護整備も行います。	・高橋神社境内の環境整備(明るい環境、遊具など) ・箕輪町で一番きれいな川(金魚藻が生える)の環境整備支援	・高橋神社の境内の環境整備は全体的に薄暗く枝が落下する恐れがあり枝切りの整備はできた。計画的に実施していく必要がある。 ・箕輪町で一番きれいな川(金魚藻が生える)の環境整備の第1段階は出来た。今後の進め方など検討が必要。	・高橋神社が子育て世代が楽しめる大型遊具の整備、環境改善を進める。 ・本年度に引き続き守る会と協議して将来像を検討して進める。 ・伊勢道の案内立て看板を設置する。
挨拶運動の啓発にのぼり旗を掲示してきたが、引き続き啓発活動を進めます。地域の皆さんが気軽に挨拶できる様地区の一体感を育てます。	・昨年度実施した挨拶運動の啓発のぼり旗の更新 ・地域、会合などでの積極的な挨拶の実施	・昨年からのあいさつ運動啓発用のぼり端破損の都度更新をしてきた。	・引き続き継続していく。

区名：八乙女

キャッチフレーズ：区民の絆が暮らしをつなぐ 心触れ合う 八乙女

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
行事、寺子屋、区史等を通じて区の習わしを後世に伝え、水路橋やグラウンドを維持管理します	・麦刈り・麦こき：7月 ・まんど作り、まんど振り：8月 ・どんど焼き、：1月	・麦刈り麦こき実施 7月 ・まんど作り、まんど振り実施 8月 ・クリスマス会実施 12月 ・麦踏み、どんど焼き実施 1月	・耕作者へ次年度のお願い
八乙女オリンピックに代表されるように、区民全員で参加できる取組を行い、魅力ある区をつくります	・夏祭りの実施(4年に1度)：8月 ・タイムカプセル掘り出しと新たに設置：8月 ・町内駅伝への参加：9月	・タイムカプセル掘り出しと新たな埋設実施 8月 ・台風の影響によりまんど振りとは花火大会のみ実施 8月 ・町内一周駅伝の参加1チーム 9月	・駅伝参加者の早期勧誘
高齢者を温かく包み込む活動と、子供たちが安全・安心に過ごせるように公園や通学路を整備し、支援します	・おいでなんしょの開催(月1回) ・敬老慰安会 (打ち人の会のそばふるまい)：秋 ・高齢者のこまり事への対応 (雪かき、除草剤散布等)	・おいでなんしょの開催(月1回) ・子育て家庭との交流 ・敬老慰安会の実施 10月 ・高齢者のこまり事への対応 (除草剤散布、枝剪定、雪かき)	・おいでなんしょ 様々な年代の区民が気軽に立ち寄りふれあう地域のコミュニティとしての役割を担う
みのわメイトを始めとするスマホ利用により、区の情報を発信し、活力ある区を目指します	・会合や集会及び区の配布書類で入会を促す ・区の状況、情報を発信する(みのわメイトの利用方法を防災訓練にて説明)	・会合や集会及び区の配布書類で入会を促す ・区の状況、情報を発信する(みのわメイトの利用方法を防災訓練にて説明)	・みのわメイトの活用を区民に説明、活用の推進

令和5年度 実績

区名：下古田

キャッチフレーズ：伝統を育み 子どもも大人もみんなが輝く 自然豊かな 下古田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区内の資源や耕作放棄地を利活用できるよう、区内の魅力を再発見し、区民で共有します	1. 犬吠地区の花畑作り： ・フクロナデシコ(主催 下古田の絆)、 ・長寿花園(主催 長寿クラブ)	1.フクロナデシコ、長寿花園ともに実施。 2.長寿花園は区が苗の購入代金を補助するとともに、植え付け、草刈り作業へ区会議員も参加している。	1.フクロナデシコ：現在栽培している犬吠地区が、住宅建設が進み環境が変わりつつあり、面積拡大が困難になりつつある。 2.長寿花園は、区長寿クラブが中心に進め、区は苗代等を補助しており、この形で進めていきたい。
イベント内容や開催時期の見直し、検討を行いながら行事を継続し、高齢者や子どもも含めた区民の交流機会の維持・創出をします	1. 区民参加のイベント実施： コロナを意識し実践には工夫を ・山菜取り、マレットゴルフ大会、駅伝大会、区民の集い、そば打ち大会、餅つき大会、しめ縄づくり、本だれ様	1.コロナ前(R1年度)行事の多くを復活した。 実施： 山菜採り 4月 マレットゴルフ 7月 駅伝大会 9月 区民の集い 10月 そば打ち 11月 しめ縄作り 12月 ほんだれ様 1月 できず：餅つき大会	1.ほぼコロナ前の水準に戻し可能だが、コロナを意識して進めるバランス感覚が必要となる。
子どもたちへ自然環境の大切さや豊かさを伝える機会を創出します	1. アレチウリ、オオキンケイギクの駆除、地域美化活動を継続する 2. 不法投棄パトロールを春、秋に実施 3. 山菜取りなどのイベントを実施し、区を取り巻く里山を実感させる	1.アレチウリ駆除を5回実施(6.7.8.9月(2回)) 2.不法投棄パト、道路落葉清掃を6.12月実施 3.山菜採りイベントは、雨天で実施できず。	1.アレチウリ等の駆除：く衛生部が主体となり、継続する。 2.各種イベントは、公民館などと連携して進める。
区の事業継続・体制維持のため、区行政のあり方や仕組みを検討します	1. 新「区条例」に則った区の運営を実施 2. 組、班の形態の見直し検討を継続	1.新条例に則った区の運営を実施した。 2.組、班の見直しは、手がつかなかった。	1.移住者があり人口は微増するも、組や班の戸数がアンバランスのため、見直しは必要。
一人暮らしの高齢者の安否確認を行います	1. 高齢者の独居者を定期的に訪問し、声掛けする 2. 介護支援サポーター(8名)と定期的に情報共有を図る	1.毎月の区会で、独居高齢者情報を持ち寄り、社協との共有を図った。 2.介護支援サポーターの養成口座を、町と町社協の協力を得て実施(5回講座)、7名が受講終了した。	1.新介護支援サポーターの実践指導が必要となる。

令和5年度 実績

区名: 上古田

キャッチフレーズ: 皆で一緒に楽しもう！ 上古田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
人口が減っても上古田ならではのやり方を後世につなぐため、役割や行事等のあり方を検討します	・民生委員、常会長と連携して「支えあいマップ」を作成し、高齢者世帯へフォローを行う。 ・神社例祭のしきたり、準備等について、指導伝承を行う。 ・赤そば花祭りの実施形態を変更し長く続くよう区民負担を軽減する。	・民生委員と各常会長と連携して「災害時、支えあい、マップ」を作成 ・例祭神事に区会議員も参列し経験した ・区協議会にて協議した結果、コロナ前のような祭りを実施することは困難と結論に至った。昨年同様赤そばの里区民のつどいを実施して上古田のそば打ち文化を次に繋げる。約200人の区民が集まった。	・赤そばの畑の運営及び花の期間の祭りは、赤そばの会が主体となって行ってもらい、区はできる限りの支援を行うことがよいと思う。 ・そば打ち文化を後世に残すため区民のつどいで区民にそばを振る舞うといった方法を今後も検討したほうがよいと思う。
区民それぞれのライフスタイルや価値観を考慮しながら区政への関心が高まるよう、参加しやすい行事を目指します	・公民館活動に積極的に参加し支援、協力を行う。(バスハイク、納涼祭、駅伝大会、しめ縄作り、クリスマスリース作り) ・長寿者慰安会の実施方法を検討する。 ・鼓笛隊、子供会、中学生会、長寿会、健全育成会に支援する。	・公民館活動は予定していた事業をすべて実施することができた。 ・長寿者慰安会は、長寿クラブとも相談する中で、一堂に会しての慰安会は本年度も行わず、長寿者慰問を行った。 ・鼓笛隊をコロナ感染症で3年以上実施しなかったが、西小児童と保護者の協力で復活することができた。	・長寿者慰安会を復活させるか、長寿クラブ等と協議する必要がある。
貴重な文化遺産や豊かな自然を有効に活用し、これまでの活動に、団体間の連携や協力等も加えながら、新たな楽しみを見つけます	・区有林界の見回り実施(協議委員、林野水権管理委員) ・赤そば畑、花もも街道、あやめ畑等に活動しているグループとの連携を行い、会の活性化と新たな事業を模索する。 ・マレットゴルフ場を誰でも使いやすく安全で気楽に楽しめる場として使えるように区、長寿会、有志とで準備を行う。	・区有林見回りと同時に戌亥地蔵、山の神、九頭竜様の参拝を行った。 ・マレットゴルフ場の整備を区、長寿会、分館とで実施した。 ・赤そばの会の赤そばまつりに区議会全員で協力した。	・赤そば畑、花もも街道、あやめ畑等に活動している各グループのメンバーが徐々に高齢化している反面若者が参加してこない。若者の参加を促す方策を検討する必要がある。
安全で安心して暮らせる区になるよう取り組みます	・災害時に必要な備品、非常食等の点検及び補充を行う。 ・区内の危険箇所の洗い出しと対策を行う。	・町補助金を受けて、防災用品(避難所運営に必要な備蓄品)の収納庫を設置した。 ・区内の見回りを定期的実施し、危険箇所の早期発見に務めた。結果、常無川、深沢川に崩落箇所があり、町へ通報した。	・非常時に対応するため、区としての防災計画を策定する必要がある。

区名: 中原

キャッチフレーズ: やさしさが、みんなを家族にできる里 中原

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
小回りの良さやまとまりの良さを活かし、高齢者を支えあう仕組み等を整えます	・NSCの「暮らしの安全対策委員会」の令和5年度活動計画に沿った取り組み ・区民の要望(困りごと:ゴミ出し、雪かき、草刈り等)の把握と支援(アンケートによる調査) ・救急医療情報セット(命のカプセル)の普及推進 ・一人暮らしの安否確認(民生委員との連動)	・区民アンケートの実施を行い、困りごと(雪かき・草刈・ゴミ出し等)の把握をし、必要とする人への支援を行った。 ・対応ができずにいた荒れ地(竹藪)の片付けを区民有志で行い環境整備ができた。 ・一人暮らしの家庭への安否訪問を民生委員と連動しながら行った。	・困りごと(雪かき・草刈・ゴミ出し等)の把握を継続して行い、支援を実施していく。 ・救急医療情報セット(命のカプセル)の普及がひと段落した感がありどのように進めるか検討する。 ・民生委員、町社協地区担当者との情報交換をこまめに行う
区役員の負担を見直すなど、区の役割分担等を検討します	・会議時間の短縮を計り拘束時間を軽減する(区会等) ・各委員会の作業をまとめて行い作業日数を減とする ・秋の人足は4常会ではなく2常会で行い各常会は2年に1回とする(前年度より開始) ・区会の作業を一般区民に割振る試みを昨年度行ったがかえって区会議員の管理工数が増える反省から今年度は実施しない	・会議時間の短縮を進め1時間以内/回をほぼ達成できた。(月例区会等) ・各委員会の作業をまとめて行い作業日数を減らし、効率よく実施した。 ・秋の人足は今までの半分の2常会で行い各常会の作業頻度の低減が前年度同様できた。 ・一般区民に作業を割振る試みを取りやめ、区会議員の管理工数低減ができた。	・女性の活躍の場をさらに増やせる機会の検討
子育て世代やお年寄りの世代、在来者(正区)や転入者(準区)など様々な人が集まって、中原の未来を考えます	・サロン「ふれあいなかはら」への参加対象者を高齢者だけでなく、子育て世代も参加できるよう工夫する ・「ポッチャ」を使った世代間交流 ・子供も楽しめる専門家による「紙芝居」の上演 ・分館行事の事前日程通知と直接の声掛け実施 ・新入区者への行事案内はポストに入れるのではなく、直接、説明し出席を依頼する	・入区した時期が3年未満の区民宅への区長訪問を行い、区内行事への参加を呼びかけコミュニケーションをふかめた。 ・サロン参加者達が自ら広い世代が楽しめるような取り組みを行った。(専門家による紙芝居上映2回) ・松島区の子育てサークルと連携し、子育て世代への参加募集を行った。	・サロン「ふれあいなかはら」への支援継続 ・分館行事の事前日程通知と直接の声掛け実施

区名:松島

キャッチフレーズ:人や地域の個性を尊重し 未来ある安心と安全の暮らしを創る 松島

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
1. 防災・防犯 ・災害が発生しても被害が最小限となるようにします	① 総合防災訓練では、独自の訓練で成果があったので、今年度も行いたい。 ② 松島区の避難方法は、組の避難地に集まりにくい人を救助するのを続けてゆく。	① 総合防災訓練では、昨年同様区独自の訓練ができた。 ② 松島区の避難方法を具体的決めることができた	① 「防災の手引き」の改訂版を作る ② そのために組織編成などを具体的に決める
2. 情報の伝達 ・区と区民のコミュニケーションを密にする	① 5年度は区会議員の仕事を紹介した「区議会だより」を出版したい ② 生活支え合いと災害時支え合いの支え合いができるようにしたい	① 長寿者を支えるために「松コミクラブ」を作って活動を開始した ② 区の状況を理解して頂くための「ホームページ」を作成した	① 「松コミクラブ」を有効に使って頂きたい ② 区のホームページのファンをふやしたい
3. 生活基盤の整備 ・常会からの要望書を受けて、道路・河川・集会所・防犯灯などの整備をします	① 常会の困っている問題を町に依頼したり区で工事するなどして改善をします ② 区有林の管理方法などを、町と一緒に考えてゆきます	① 要望が多岐にわたるので処理に日数が必要 ② 区有林の管理について解決策を見つける	① 要望が多岐にわたるので、処理に日数がかかる。 ② 区有林の管理については解決策を見つけて行く
4. 高齢化・少子化 ・将来にわたって常会の適正化を検討します	① 戸数の少ない常会に将来像を描いてもらった結果、通り町1・2が合併できた今期も常会に問題定義をしたい	① 常会や組は、人間関係のシガラミもあるので解決すべき課題は多い。	① 常会や組の付き合い(義理など)の壁がある課題は多い
5. 女性参画 ・区議会や関係団体の女性割合を増加させます	① 松島区議会は女性登用は難しいが、民生児童委員、赤十字奉仕団、子供会育成会などに女性を多く登用する	① 今期から区の監査委員に女性を登用できた	① 女性を活用したいが選出が難しい
6. 区会・常会 ・コロナが5類になり活動を戻す	① コロナ禍で3年間でできなかった事業を中心に、順次もとに戻してゆく	① 区民夏祭りは盛大に行うことができた ② スポーツ大会も予定したが雨天で中止した	① 来期は体育館の改築工事が始まるので夏祭りが実施できるか心配

区名:木下

キャッチフレーズ:大樹のもとに集い 世代を超えた絆でつながる 木下

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
ご近所付き合いで絆を深め、災害時にも対応できる区を目指します	○自主防災訓練への取り組み ○敬老会の開催(伊那プリンスホール9/24) ○つくしの会の実施 ○公民館・育成会活動の実施 ○ふれあいサロンの開催(8ヶ所) ○環境美化活動、常会単位による土木作業、草刈、河川清掃の実施 ○声かけ、あいさつ運動の推進 ○いきいき百歳体操による健康増進の推進	○令和5年度木下地区地震総合防災訓練の実施(9/3) ○敬老会開催(9/24伊那プリンスホテル) ○つくしの会(11/26木下公民館) ○育成会活動:天神様(11/12) ○ふれあいサロンの実施 ○環境美化活動(5/6.10/6)土木作業・草刈り他 ○あいさつ運動(月4～5) 帯無川・木ノ下駅・一の宮 ○いきいき百歳体操の実施	○自主防災訓練への取り組み ○敬老会の実施 ○つくしの会実施 ○公民館・育成会活動の実施 ○ふれあいサロンの開催 ○環境美化活動(常会単位による土木作業、草刈り、河川清掃実施) ○声・あいさつ運動の推進 ○いきいき百歳体操による健康増進の推進
多くの人が参加しやすいよう、行事や活動の取り組み方・あり方の工夫をします	○区民マレットゴルフ(公民館) ○ふれあいスポーツレクリエーション(育成会) ○ブナ林の保護、PR・見学会 ○長寿クラブ活動への参加 ○区民文化祭の実施	○公民館活動:区民マレットゴルフ大会(5/21) ○区民文化祭実施(10/28.29)新春マラソン&ウォーキング大会(1/1) ○育成会活動:ふれあいスポーツレクリエーションの実施(5/14)天神様(11/12) ○長寿クラブ活動(花壇作り・公民館周辺清掃) ○ブナ林保護のため歩道整備	○区民マレットゴルフ大会の継続 ○ふれあいスポーツレクリエーションの継続 ○ブナ林の保護、見学会、PR ○長寿クラブ活動への参加 ○区民文化祭の実施
豊富な人材の活用により、資源や行事・活動が維持できる仕組みをつくり上げます	○伝統行事を今まで通り支援し後世に残す。 ○夏、冬のお祭りを充実させる。(山車飾り、鼓笛隊パレード、鹿頭行列、遷座神輿) ○ゴミ処理、資源ゴミへの分別周知、衛生施設の見学・研修 ○セーフコミュニティ活動の継続(ふれあいラジオ体操・くらしの相談・生活支援活動)	○伝統行事:公民館出前講座 注連飾り作り講座実施 ○夏祭り:鼓笛隊パレード・神輿渡御 納涼祭の実施 ○初祭り:山車飾り 4舞台奉納 施設の視察研修の実施 ○安全・安心活動(セーフコミュニティ)の実践(ふれあいラジオ体操・くらしの相談・生活支援活動)	○伝統行事を継続支援 ○夏祭り・初祭りの充実実施(鼓笛隊パレード、鹿頭行列、遷座神輿、山車飾り) ○ゴミ処理、資源ゴミへの分別周知 処理施設の視察研修 ○安全・安心活動(セーフコミュニティ)の継続

区名:富田

キャッチフレーズ:豊かな自然と癒しの風景に区民が集う 富田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
高齢者が住みやすい地区を目指します。 高齢者世帯の状況を把握し困り事等を近所や地域で対処し支えて行き災害時もしっかり守れるよう取り組みます。	・高齢者世帯の雪かき、ごみ出し支援の継続 ・高齢者世帯の草刈りの継続 ・高齢独居者宅への訪問 ・災害時支え合いマップの更新 ・長寿者慰安会の開催 10月予定 ・トラクターによる畑のロータリー作業を支援活動に追加	・高齢者世帯の雪かき、ごみ出し支援の継続 ・高齢者世帯の草刈りの継続 ・一人暮らし高齢者宅を夏・冬の2回訪問 ・災害時支え合いマップの更新 ・長寿者へのお祝い金贈呈と特別企画として落語公演を10月に実施 ・新規支援としてトラクターによる畑のロータリー作業を12回実施	・高齢者福祉基金を活用して高齢者の自主活動を促進する。
区民の地区行事への参加を通じ、地域住民の連携を深めます。また、区民全員で子供を育成する機会をつくります。	・マレットゴルフ大会 6月予定 ・玉ねぎ収穫祭と定植体験の開催 6月、10月予定 ・盆行事の開催 8月予定 ・町内一周駅伝への参加 9月予定 ・秋祭りの開催 10月予定 ・区民運動会の開催 10月予定 ・長寿者慰安会の開催 10月予定 ・どんど焼きの開催 R6年1月予定	・マレットゴルフ大会 6月実施 ・玉ねぎ収穫祭と定植体験 6月、10月に実施 ・盆行事 雨天のため懇親会を実施(8月) ・町内一周駅伝への参加 9月 ・秋祭りの開催 10月 ・区民運動会の開催 雨天のため懇親会を実施(10月) ・どんど焼き R6年1月実施	・区民運動会等で従来の形式(例えば常会対抗)が難しい状況であり参加者の年代、人数に応じた実施が可能なニュースポーツ等の採用検討も必要。
区民の行事参加者が増加するよう内容の変更や取り組み方を工夫します。	・行事計画段階での検討充実 ・参加促進の行動をとる	・行事開催側の負担軽減として外部ソースの活用を行った(秋祭り) ・アンケートにより対象者のニーズに沿った内容で実施するようにした(長寿者慰安)	・ニーズの沿った行事を行うための工夫が必要。

区名: 中曽根

キャッチフレーズ: 伝統と自然の中で みんな笑顔に 中曽根

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
・中曽根区の人口減少への歯止め対策。	・後継者が区内に住むときには区費、賦役を免除する。 ・近場での働き場所の確保。	・継続実施中	・農振地区の解除(移住者住居の確保) ・町との連携(企業誘致)
・異常気象による自然災害等から高齢者と要支援者を守る。	・支えあいマップ、支援者リスト作成 ・民生児童委員を区民定期的な見守り実施 ・有事の際に組長、班長を中心とした支援を行う ・防災訓練の実施 ・健康寿命を延ばす取り組み	・継続実施中 ・継続実施中 ・組長にカラーベスト配布(有事集合目印) ・継続実施中 ・支え合い協議会モルック等健康づくり	・個人情報の観点から、情報共有化がしづらい ・支える人も高齢化してきている ・更なる有事に対する備えの充実。
・区民交流の機会(各種行事等)を継続し良好な人間関係をたもつ。	・納涼祭の開催 ・敬老会の開催 ・区民交流会の開催 ・鼓笛隊、どんど焼き ・町内一周駅伝大会への参加 ・獅子舞の継承(子供獅子舞の検討) ・花の全戸配布及びふれあい花壇作り ・区内遊園地の環境整備(草刈り、塗装等)	・台風接近、中止 ・中止、お祝い品配布 ・区民交流会モルック大会実施 ・実施 ・参加者確保できず、不参加 ・実施(子供の練習参加1名あり) ・実施	・時代に即した交流の在り方の検討 ・里山整備での交流検討
・区政の持続可能な仕組みづくり。	・未来検討委員会を立ち上げ、少子高齢化、定年延長等でも役員の確保ができる仕組みづくりを推進する ・(各種役員の見直し、負担の平準化等を検討、実施)	・区議会、区審議委員会で検討し、必要に応じて従来の枠組み及び、外部の協力をおねがいし、改革を図ることとした。	・地区との情報交換 ・区民全員の理解、協力
・交通弱者への安全確保。	・小学生通学路の危険箇所ドライバーへの注意喚起(道路カラー舗装、のぼり旗の増設)	・町に要望しカラー舗装は完了	・飛び出し坊や設置の検討 ・町や接近区との連携

区名：三日町

キャッチフレーズ：活力とふれあいが 明日をつなぐ 三日町

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
災害時に備えた活動の充実、安全安心の地域づくりに取り組みます。	○三日町区防災マップを使った防災訓練の実施 ○危険箇所の現地確認及び見守り ○災害時住民支え合いマップの更新 ○要介護者名簿の更新 ○南小学校見守り隊の活動	概ね計画どおりに実施することができたが、災害時住民支え合いマップの見直しができなかった。	災害時住民支え合いマップが数年更新されていないため更新されたい。
子育て支援や行事を通じ、地域コミュニティの活性化を図ります。	○区民ハイキング(福与区と合同) ○夏休み寺小屋教室 ○小学生の鼓笛隊演奏(区内巡回演奏) ○ふれあいサロンの開催 ○地域福祉施設への奉仕活動 ○高齢者への生活支援活動(雪かき、ゴミ出し) ○花壇の整備(長寿クラブ) ○各種サークル活動の支援	概ね計画どおりに実施することができた。花壇の整備は長寿クラブの融資により実施された。	高齢者への生活支援活動は、平日の対応が課題です。地域全体の高齢化が進んでおり勤め人は休日しか対応できない。
伝統行事や魅力あるイベントを通じ、地域の絆や親睦をふかめ交流の場を設け、区の魅力を伝える中で、転入者の区及び常会への加入の推進を図ります。	○御射三社の例祭 ○町内一周駅伝大会への参加 ○区民文化祭の実施 ○サマーナイトフェスティバルの開催 ○どんど焼き、天神様	サマーナイトフェスティバルは雨のため中止になったが、他は計画どおり実施することができた。	分館活動を活性化することで区及び常会への加入の推進を図る。

区名: 福与

キャッチフレーズ: 伊那谷を一望する めくもりの里 福与

主な取り組み	具体的な取り組み(計画)	具体的な取り組み(実績)	来年度への引継事項
福与区の宝である人のつながりを次世代へとつないでいくため、区民が集い活動する場を大切にしていきます	①福祉に関わる悩み事など、民生児童委員等と連携して相談しやすい環境をつくる ②区内のサークル、団体支援	①区役員と民生委員をメンバーとして福祉調査活動懇談会を実施した。町社会福祉協議会のコーディネーターを交えて課題等解決に向けた話し合いができた。アンケート 調査結果を共有した。 ②公民館の室内を整備し活用しやすくした。補助金を交付し支援した。	①地域福祉活動の仕組みづくりとマンパワーの確保。
より多くの区民が参加・参画できる行事や活動にしていくために、幅広い区民の声や女性の目線からの声を大事にして取り組みます	①ウィズコロナを見据えた区民の集える行事の開催 ②子供たちの姿が見える取り組みの実施 ③区報、ガイドブック(輝く女性、農業)の発行 ④女性が参画しやすい土壌づくり(講話、懇談会等の開催)	①コロナ発症前に行っていた運動会、納涼祭、駅伝大会参加、敬老会など区民の顔が見え行事を、4年ぶりに復活し実施した ②映画会を実施し、子供向けの作品の上映を行い好評だった。公民館内に子どもが集えるスペースを確保し、解放した。 ③区報は5号発行し情報共有が図られた。ガイドブックは第3弾を刊行し全世帯と公共機関に配布した。ガイドブックで活躍する女性を掲載し普及に努めた。	①区民の顔が見える行事の継続実施。映画会が好評でしたので子供向けも含めて継続実施。 ②広報の充実及び区民と情報共有を図るため常会長との連携を緊密にする。
防災マップを積極的に活用と災害発生時の支え合いマップを活用します	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の整備・更新 ②常会単位の防災学習の開催 ③発災時に迅速に対応できる本部体制を確立する ④地域防災マップへ最近の災害状況を加味した更新と区民への周知 ⑤町と連携して防災訓練の実施 ⑥消防団との懇談を通して防災意識の共有	①区独自の災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の更新をした。 ②判の木常会にて、防災学習会を開催した ③防災マップは最近発生した災害状況を加えて更新した。 ④全区民を対象とした防災訓練を実施した ⑤5月、6月に発生した集中豪雨により発生した災害について、緊急な対応ができた巡回等まめに実施し人的被害は発生しなかった。	①災害予防と発災時に区民を守るための体制を常に確認し整える ②災害弱者の把握と支援する体制を確保する ③避難所の環境整備と備蓄品の充実を図る

区名:長岡

キャッチフレーズ:健やかに暮らせる 自然と歴史に育まれた 長岡

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
・転入者が転入しやすい地域(区内)環境を整備・検討します ・区民の区政への負担平準化を検討する。	・十沢坂上下の整備等年間を通して草刈り等を実施します(美しい長岡) ・移住者向けにアピールできる内容を、移住者の意見を今年中まとめ、来年の移住者向け追加資料を作成する。 ・R4年の総務活性化委員会にて実施の区民アンケート結果をふまえ実施可能な対策を選択し実施する。 ・区民の常会ごとの区役員の負担の平準化を検討する。	・十沢坂及びダム下の草刈り等環境整備を実施し美しい長岡の実施が出来た。 ・区民アンケートの結果より出来る改善事項を上げて対策を実施できた。 ・移住者向けにアピールできる内容を、移住者を集めては出来なかったが、町での区紹介パンフレットの最新版への改定が実施出来た ・区民の常会毎の区役員の負担の平準化は、規約変更を行い実施で来た。	・十沢坂 及びダム下の草刈り等環境整備をする様継続して計画して頂きたい ・区民アンケートの結果より対策出来る改善事項を活性化委員会等で検討し、各委員会とタイアップし対策を継続的に実施して頂きたい。 ・移住者向けにアピールできる内容を、移住者を集めて検討し冊子等にとって頂きたい。 ・区民の常会毎の区役員の負担の平準化は、規約変更を行い実施で来た。
・ご近所同士又、区内で一人暮らしのお年寄りを気にかけ、区・常会内で状況を共有します。	・地区社協が展開している生活支援部会が中心となり、毎年区民を対象にしたアンケート結果にて支援します。 ・4カ所のふれあいサロンの運営にあたり、推進委員を通じた広報活動に努め、参加者の増加をはかります。 ・住民支えあいマップを各推進員(代議員)・地区社協・民生委員と連携し随時見直し活用いたします。	・地区社協が展開している生活支援部会が中心となり、毎年区民を対象にしたアンケート結果にて支援が継続的に実施で来た。 ・4カ所のふれあいサロンの運営にあたり、推進委員を通じた広報活動に努め、参加者の増加をはかります。 ・住民支えあいマップを各推進員(代議員)地区社協・民生委員と連携し確実に見直しを行い対応が最新の状態として運営で来た。	・地区社協が展開している生活支援部会が中心となり、毎年区民を対象にしたアンケート結果にて支援が継続的に続けて頂きたい。 ・4カ所のふれあいサロンの運営にあたり、推進委員を通じた広報活動に努め活性化を図ってください。 ・住民支えあいマップを各推進員(代議員)地区社協・民生委員と連携し確実に見直しを行い対応が最新の状態に維持して下さい。
世代間の交流の場を守り、近所付き合いを大切にすることで、災害時でも対応できる準備を整えます	・分館による区民を対象とした区民レクリエーション等積極的に実施する。 ・常会単位の、集まる機会を増やし積極的に触れ合う場を作ってもらい近所付き合いをしてもらいます。	・分館による区民を対象とした区民レクリエーション等積極的に実施が出来たが雨によりふれあいレクリエーションのみ中止。 ・常会単位の、集まる機会を増やし積極的に触れ合う場を作ってもらい近所付き合いをしてもらいます。 最大の行事であるふれあいレクリエーションが中止となりましたが、個々の常会で慰労会・暑氣払い等の行事は実施で来た。	・次年度も分館による区民を対象とした区民レクリエーション等積極的に実施して頂きたい ・次年度も常会単位の、集まる機会を増やし積極的に触れ合う場を作ってもらい近所付き合いをする計画をして頂きたい
・地域の宝である山・水の管理のあり方や取組みを検討します	・R3年度から「森林経営5ヶ年計画」に沿って植栽、捕植、間伐、除伐、下草刈等を中心に引き続き整備を進めて行きます。 ・林道、作業道の整備等水源の森の更なる向上に取り組む。 ・自前上水道の生かし、区民増の活動を進める。 ・自前上水道に対する長期的な経営計画を整え、整備更新計画と資金計画に取り組む。 ・長岡区内をめぐる用水の適正管理により区民の使用する水を確保する	・R3年度から「森林経営5ヶ年計画」に沿って植栽、捕植、間伐、除伐、下草刈等を中心に計画通りの整備が実施で来た。 ・林道、作業道の整備等水源の森の更なる向上に取り組む環境整備が出来た。。 ・自前上水道の生かし、区民増の活動を進めており1年間の人口減少がほとんど無く移住者等もあり自然減を移住者が埋めた形となっており良いレベルが維持できた。 ・自前上水道に対する長期的な経営計画を整え整備更新計画と資金計画に取り組む所までいかなかった。	・R3年度から「森林経営5ヶ年計画」に沿って植栽、捕植、間伐、除伐、下草刈等を中心に計画通り進めて頂きたい。 ・林道、作業道の整備等水源の森の更なる向上に取り組む環境整備を継続して頂きたい。 ・来年も自前上水道の生かし、区民増の活動を進めており今後も継続して頂きたい。 ・自前上水道に対する長期的な経営計画を整え、整備更新計画と資金計画に取り組むことを進めて頂きたい。 ・長岡区の区民増加策を進めて頂きたい。

区名:南小河内

キャッチフレーズ:古から伝わる伝統と築き上げた暮らしやすさを未来につなぐ 南小河内

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区、公民館、社会福祉協議会、青少年健全育成会、消防活動などの各種団体と連携し、区民相互の交流をはかるとともに、区内での支え合い(近助)文化の醸成やコミュニティの発展をはかる。	①おさんやり(盆祭)の継続実施 ②各種交流やイベントの実施(スポーツ大会、ふれあいサロン等) ③生活支援(住民相互の助け合い活動等) ④健康づくり支援(介護活動予防等) ⑤青少年健全育成会(児童会行事支援等)	コロナ禍5類になりほぼ4年前よりも縮小になった行事もありましたが、各行事を実施しました。	各行事を出来るだけ実施し伝統を引き続けてほしい
区内の施設や環境整備に向けて、区民総出のボランティア活動の継承・拡充、自主組織への支援を行う。	①区内の協働体制の拡充をはかり、区の施設や管理地の環境整備 ②上の平城跡、知久沢自然体験公園、東山山麓歴史コース、区有林等の整備	区民美化活動を2回実施し多くの(170人)参加者により実践できた。	区民美化活動を年2回実施してきれいにしてほしい 上ノ平・バスケットコート等を活用を考え、若い人から高齢者までの交流に活かしてもらいたい。
区内に保育園、小学校があり『子供達の安全・安心の確保』が重要であり、この点を意識した取り組みを行う。	①見守り隊の継続や支援 ②ゾーン30の周知	①見守り隊の活動は例年通り行った。 ②ゾーン30区域の認識のないドライバーへの周知	見守り隊の皆さんに、物資協力して今まで同様に活動してほしい。ゾーン30は、認知されてきましたが、交通事情等によりオービスの取締り等実施してほしい。
人口減少や高齢化などの課題ある中で、区・常会及び区民との関わりを大切に、安全・安心な住み良い地域づくりを目指します。	①若年層(独身者が多い)出会いの場、イベント等考案 ②区費の有効活用で住みやすい地域支援 ③人の集まる活性化地域検討	今年は、分館にてちょこつとウォークとニュースポーツ体験を実施できた。	分館等で、区民の集まるイベント実施出来る体制を取ってほしい。

区名:北小河内

キャッチフレーズ:地域が輝き笑顔あふれる 北小河内

主な取り組み	具体的な取り組み(計画)	具体的な取り組み(実績)	来年度への引継事項
安全安心な地域を築きます	1)KSCアンケート結果に対する対策方向付け ・児童の交通安全対策＝道路標示・外側線等道路管理者への要望 ・安全安心に関わる要望、意見への実施 2)KSC継続取り組み事項の推進 ・設置啓発看板の更新と修繕の実施 3)自主防災の取り組み推進と家庭の防災意識高揚	1)KSCアンケート結果に対する対策方向付け ・東西線入口信号横断歩道のスクランブル化を現地にて伊那建設事務所へ要望した。 2)KSC継続取り組み事項の推進 ・県道に設置してある大型啓発看板の更新を行った 3)自主防災の取り組み推進と家庭の防災意識高揚	1)伊那警察署と伊那建設事務所との協議の結果、歩行者用青信号の点滅時間調整で様子を監視する事となった。 2)KSC継続取り組み事項の推進 ・町の体制・継続の意思を確認する。 3)能登地震の状況を見ると、何らかの形で意思を確認すると思われる。
自然環境を守り、暮らしやすい住環境を整備します	1)竹の腰公園周辺の環境整備 2)生活道路・農業用水路の補修、改修 3)アメンロ・アレチウリ駆除 4)アダプトシステムの継続実施	1)竹の腰公園周辺の環境整備 常会班を組み、年3回実施。 2)町に依頼する前に建設委員による道路陥没補修の実施。 3)アメンロ駆除消毒年2回実施。アレチウリ駆除作業 4)県道美化除草作業、年2回実施。	1)参加者の高齢化と参加人数の減少。 2)町道補修のためのコンパクターの各区への配備。 3)消毒作業員の高齢化の対応。 4)参加者の減少とアダプトシステムの本来の意味を区民への理解啓発。
歴史を伝え、地域の絆を育みます	1)文化財、東山山麓歴史の道の案内板の管理と修復 2)五社権現堂周辺の環境整備 3)古文書の歴史図書館文書管理 4)助け合い活動の継続的取り組み 5)ふれあい会サロンに対する活動支援	1)文化財、東山山麓歴史の道の案内板の管理と修復 2)五社権現堂周辺の環境整備 3)古文書の歴史図書館文書管理 4)助け合い活動の継続的取り組み 5)ふれあい会サロンに対する活動支援	1)次年度以降、随時修復は必要。 2)継続する。 3)専門家の不在。 4)継続する。民生委員との連携。 5)ふれあい会ボランティアの新規協力者の確保が最大の課題。
少子高齢化に見合う区政体制・機能・デジタル化への対応を行います	1)区会役員の業務軽減のため、会議回数を減らす 2)みのわメイトの区民への普及のため、区民対象の説明会実施	1)特に、区会議員の開催時間は短縮した。 2)みのわメイトの区民への普及のため、区民対象の説明会実施は出来なかった。	1)継続して進める事が、負担軽減に繋がる 2)みのわメイトの拡大は、スマートフォン保持することが前提となるため、問題あり。
笑顔で生活できる地域、絆づくりを目指し各種サークル、ボランティア活動の輪を広げ、気軽に参加できるふれあいの場をつくり支援を進めます	1)現在実施されているサークル・ボランティア活動の維持 2)高齢者の増加に伴う、敬老会の見直し	1)ひよこの会への参加者へ呼びかけ。 2)対象者の年齢を75歳以上に引き上げ、敬老会は公平を保つため、飲食を伴う会をあらためて、御祝金の手渡しに切り替えた。	1)若い世代へのアプローチとして、ひよこの会の世代を誘う事も、積極的に進めて。 2)祝金の増額は、検討事項。